

蝶結び・箸の持ち方について

幼稚園では、年長組になるとお弁当袋のひもで蝶結びをします。以下の結び方で行います。家庭で日々の積み重ねの中、身につけていくものと捉えていますので、園で特別に練習することはありません。お子様と一緒に取り組んであげてください。また年長からは箸のみを使って食事をしますので、正しく持っているか見てあげてください。春休みに練習し、進級時にはできるように頑張ってください。

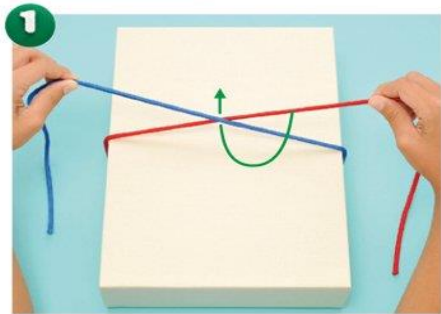
【蝶結び】

ちょうむすびをしよう

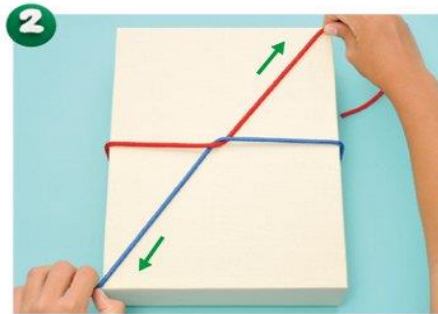
ちょうむすびは、ちょうちょの形に仕上げます。よくつかうむすびかたなので、チャレンジしましょう。



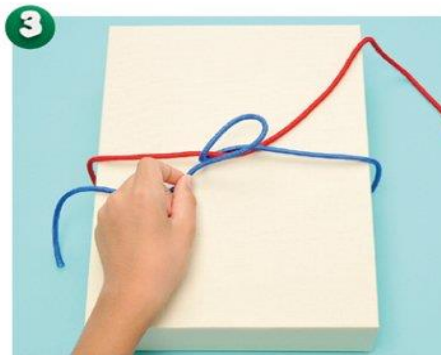
むすびかた



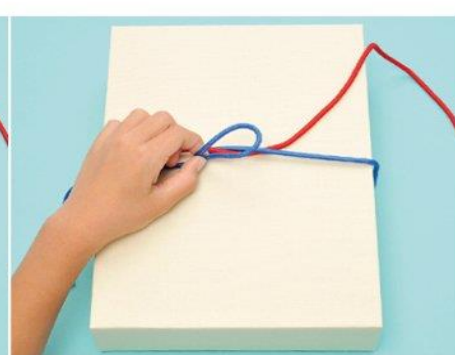
1 青いひもを前にして「X」の形にする。赤いひもを前へたおして、「X」の下にくぐらせる。



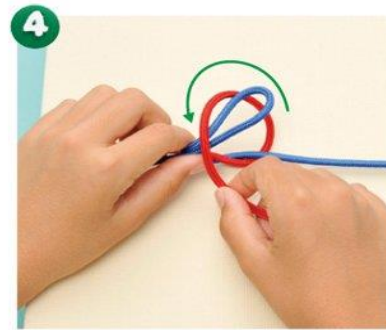
2 ひもをななめにひっぱる。



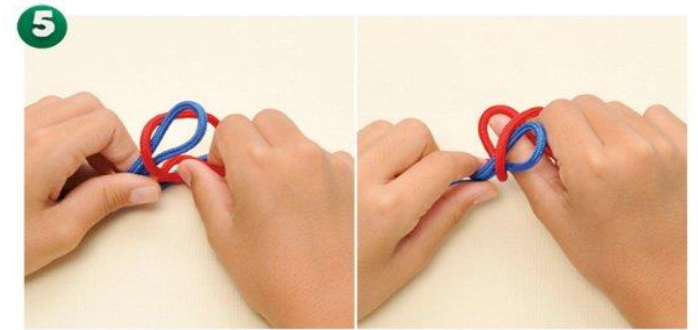
3 青いひもでわを作って、左手でもつ。



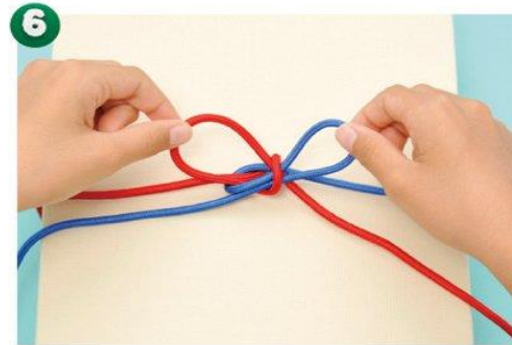
体験につなげるヒント ちょう結びは実際にする機会の多い結びかたですので、できるようにしておきたいものですね。上達のポイントは体験を重ねること。靴をはじめ、小さな子どもが使うものはひもを結ぶ必要のないものが増えていきますので、おうちのかたの靴やエプロンなどのひもを子どもに結ばせるといいでしょう。



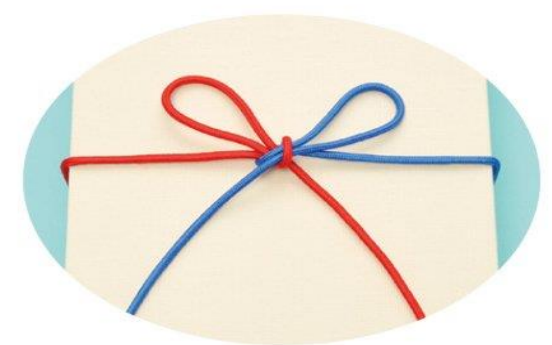
4 赤いひもをおくから青いわにかける。



5 かけた赤いひもを右手の親ゆびで、赤いわの中におしこむ。



6 できた赤いわと青いわをもってひっぱる。



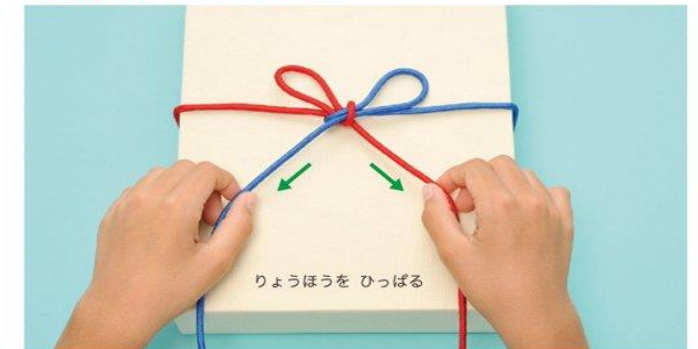
形をとのえたら、ちょうむすびのできあがり。

きをつけよう



4で赤いひもを手前から青いわにかけると、わがたてになってしまいます。これはまちがったむすびかたです。

ちょうむすびをほどこきたいときは



りょうほうをひっぱる

ちょう結びの別名

- ちょうちょ結び
- もろわな結び
- 花結び
- ボウ・ノット(英名)
- リボン結び

「片ちょう結び」とは

ひもが短くて、ちょう結びがしにくい場合にする結びかたです。上の手順の5で、赤いひもを端まで赤い輪の中押しこみ、青い輪と赤いひもをひっぱって結びます。

◎巧緻性  
◎被服(家庭科)